

中野駅西側南北通路・橋上駅舎等事業に伴う工事の施工状況等について

中野駅西側南北通路・橋上駅舎・駅ビルからなる道路一体建物の工事について、現在、支障移転工事及び本体工事を実施しているところである。

については、工事の状況について報告する。

1. 今年度の工事概要

○工事内容（人工地盤杭工事）

① 仮ホーム化（既存1番ホーム改良）

仮ホーム基礎杭の打設

②－1 人工地盤杭施工準備・打設

人工地盤杭プラント設置

配管架台設置

上家補強・開口工事

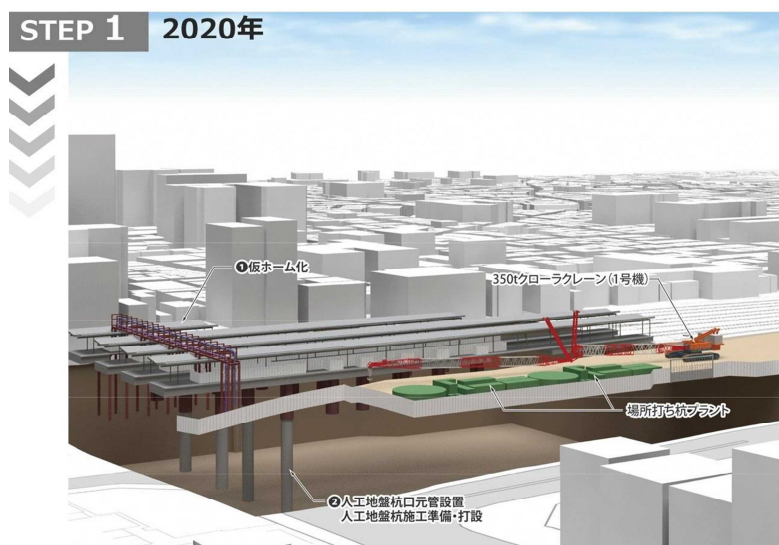
ホーム掘削工事

人工地盤杭打設（8月下旬～）

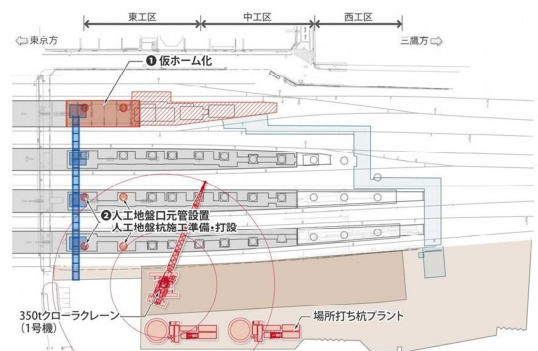
②－2 人工地盤杭口元管設置

○その他

現在、上家補強やホーム掘削など主たる工事は列車運行に支障があるため、列車運行終了後の夜間に工事を行っているが、今後、杭の打設工事の一部などについては昼間工事を行っていく。



- ① 仮ホーム化
- ② 人工地盤杭口元管設置
人工地盤杭施工準備・打設



2. 工事の状況

別紙1のとおり

3. 道路一体建物協定の締結について

中野駅西側南北通路・橋上駅舎等は、立体道路制度の「道路一体建物」として整備している。令和2年6月10日付けで道路法第47条の8に基づき、道路と建物が一体になることによる道路の新設、改築、管理の費用負担等に関する協定（道路一体建物協定）について、道路管理者である中野区と建物所有者である東日本旅客鉄道株式会社及び東京地下鉄株式会社の三者で締結した。

なお、本協定の写しを中野区中野駅周辺まちづくり課において閲覧に供するとともに、工事現場において閲覧に関わる掲示を行う。

②-1 人工地盤杭施工準備



②-2 人工地盤杭口元管設置



① 仮ホーム化(既存1番ホーム改良)



北口ヤード仮囲い

